

# 仕 様 書

業務名	特別教棟教室内装修繕業務	履行場所	愛媛県立伊予高等学校特別教棟
-----	--------------	------	----------------

標記業務の仕様は、次のとおりである。

本業務は、次の条件を満たす必要がある。

1 仕様

本修繕業務は、県立学校振興計画により令和8年4月に新設される芸術科（音楽専攻、美術専攻及び書道専攻）で使用する特別教室を整備するものである。整備する箇所は、以下のとおりである。

修繕場所	修繕前の教室	修繕後の教室
特別教棟4階	物理講義室	第3音楽教室
特別教棟4階	物理実験室	第2書道教室
特別教棟1階	地学実験室	第2美術教室

修繕の仕様は下記のとおりとし、材料・数量等は別紙修繕内訳書によるものとする。

なお、本修繕業務の施工にあたり、以下の点に留意する必要がある。

(1) 修繕業務の施工は原則開校日に実施するものとするため、生徒や教職員の安全に十分配慮するとともに、特別に動線を確保したり制限したりする必要がある場合や、授業等に支障のある騒音が発生する際には、事前に学校と協議を行うなど、学校運営に十分配慮すること。

(2) 各教室の構造や用途を考慮し、適切な施工を行うこと。

(3) 本業務の完了後に引き続き設備及び備品等の整備を別途行う必要があることから、できる限り早期の着手及び完了に努めること。

2 性能、機能

(1) 共通事項

a 材料の規制対象物質を、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、クロルピリホス、ダイアジノン、フェノールカルブ、パラジクロロベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、テトラデカン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの13物質（以下「規制対象化学物質」という。）とする。

b 規制対象化学物質を発する建築材料の使用を可能な限り制限するとともに、施工時及び施工後の通風及び換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させることとする。

(2) 第3音楽教室

a 床は、教師用実験台1台及び生徒用実験台12台を撤去し、タイルカーペットによる仕上げを行うこととする。

b 既存の建具を、防音建具に更新することとする。

c その他、詳細は修繕内訳書及び図面を参照することとする。

(3) 第2書道教室

a 床は、教師用実験台1台及び生徒用実験台15台を撤去し、研磨の上ワックスによる仕上げを行うこととする。

b その他、詳細は修繕内訳書及び図面を参照することとする。

(4) 第2美術教室

a 床は、教師用実験台1台及び生徒用実験台15台を撤去することとする。

b その他、詳細は修繕内訳書及び図面を参照することとする。

### 3 性能、機能以外の要件

#### (1) 全般的事項

- a 履行場所は、愛媛県立伊予高等学校特別教棟 4 階及び 1 階とする。
- b 履行期間は、契約の日の翌日から令和 7 年 9 月 30 日までとする。
- c 学校からの支給品はないものとし、消耗品、雑材料、工具、その他業務に必要な器材及び物品等は全て調達するものとする。
- d 修繕業務に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修するものとする。
- e 契約後、仕様書及び修繕内訳書を参考に業務計画（修繕内容、修繕方法及びスケジュール等）を作成し、内容に問題がないか学校に協議し確認をすることとする。
- f 撤去した家具類その他不要物の廃棄処分を関係法令に基づき適切に処理することとする。
- g 本業務の履行にあたっては、建具等の資財の調達、人員の確保等を適切に行い、学校と連絡を取り合い、計画的に実施することとする。
- h 業務が計画期間内に完了しないときは、学校の承諾を得て期間を延長するものとする。
- i 業務完了後、この業務に起因する不具合が生じた場合は、速やかに無償修復を行うこととする。

#### (2) 室内空気環境測定の実施

- a 修繕の前後に、以下の測定対象化学物質について、室内空気環境測定を実施し、測定結果報告書を提出することとする。測定は、住宅の品質確保の促進等に関する法律第 3 条第 1 項に規定する評価方法基準（平成 13 年国土交通省告示第 1347 号）の第 5 の 6－3 のに定める方法（アクティブ法）又はパッシブ型採取機器を用いることとする。
- b 測定対象化学物質及び濃度の基準値は以下のとおりとする。

測定対象化学物質	基準値
ホルムアルデヒド	0.08ppm 以下
トルエン	0.07ppm 以下
キシレン	0.05ppm 以下
エチルベンゼン	0.88ppm 以下
スチレン	0.05ppm 以下
パラジクロロベンゼン	0.04ppm 以下

- c 測定室は、以下のとおりとする。

修繕前		修繕後
物理講義室	⇒	第 3 音楽教室

#### (2) その他

- a 業務完了報告書に、作業前、作業途中並びに作業後の施工写真及び産業廃棄物管理票（マニフェスト）の E 票（写し）を添付して提出することとする。
- b 本業務は修繕業務契約であるため、建設業法第 19 条の 2 に規定する現場代理人及び同法第 26 条に規定する主任技術者及び監理技術者については、設置は必要ないものとする。

#### (3) 特記事項

- a この仕様書に記載されていない事項であっても、軽易な作業で施設の管理保全及び事故の防止上学校が必要と認めた作業は、契約金額の範囲内においてこれを実施することとする。